

# 議会ウォッチャーズ



## ココに注目!

ここが聞きたい《一般質問》

P6

常任委員会報告

P11

どうする?東峰村議会《議員定数》

P12

表紙 / コロナの先に(P10)  
清和園 坂口施設長(右)・湯野事務局長(左)



# 災害に負けてたまるか！

この度の豪雨災害により被災された皆様、  
ならびにそのご家族の皆様にお心よりお見  
舞い申し上げます。

平成29年7月の九州北部豪雨災害より6  
年が経ち、ようやく復旧工事が終わろうと  
している中での、今回の大雨により甚大な  
被害が家屋・農地・山林等に発生いたし  
ましたが、幸いにして人的被害の発生がな  
かったことに安堵しているところです。

私も東峰村議会といたしましては、国  
会議員団及び県議会議員団の現地視察時に  
同行し、平成29年に指定を受けた国におけ  
る「激甚災害法」に基づく激甚災害の指定  
と適用措置の要望を行っているところです。

また、行政とともに被災個所の一日も早  
い復旧・復興と、村民皆様の安全を一番に  
考え取り組んでいきたいと考えております。

皆様の安全と被災個所の一日も早い復旧  
・復興を心よりお祈り申し上げますととも  
に、被災された皆様の生活が一日も早く平  
穏に復することを祈り申し上げます。



東峰村議会議長 伊藤 均



第2回臨時会(5月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧	黒川隆康	佐々木紀嘉	大藏久徳	高橋弘展	梶原伯夫	高倉美紀恵	佐々木孝	樋口朗	和田将幸
条例	承認	専決処分の承認を求めることについて(重度障害者医療費の支給に関する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認	専決処分の承認を求めることについて(国民健康保険税条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認	専決処分の承認を求めることについて(税条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	承認	専決処分の承認を求めることについて(令和5年一般会計補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	令和5年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	承認	専決処分の承認を求めることについて(財産の取得に係る契約の変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認	専決処分の承認を求めることについて(財産の取得に係る契約の変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意	東峰村教育委員会教育長の任命について(縄田 淳一氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第3回定例会(6月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧	黒川隆康	佐々木紀嘉	大藏久徳	高橋弘展	梶原伯夫	高倉美紀恵	佐々木孝	樋口朗	和田将幸
条例	可決	東峰村村民センター条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	東峰村廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	東峰村議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	可決	令和5年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	令和5年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	可決	損害賠償の額を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	報告	令和4年度東峰村繰越明許費繰越計算書報告	報告のみのため採決は行いません								
	報告	令和4年度東峰村事故繰越し繰越計算書報告	報告のみのため採決は行いません								
	同意	東峰村農業委員会委員の任命について(熊谷 弘枝氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意	東峰村農業委員会委員の任命について(西 徹氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意	東峰村農業委員会委員の任命について(柳瀬 圭三氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意	東峰村農業委員会委員の任命について(高倉 寛視氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意	東峰村農業委員会委員の任命について(阿波 範良氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意	東峰村農業委員会委員の任命について(梶原 昭徳氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意	東峰村農業委員会委員の任命について(室井 政春氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意	東峰村農業委員会委員の任命について(伊藤 幸春氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意	東峰村農業委員会委員の任命について(熊谷 和典氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意	東峰村農業委員会委員の任命について(熊谷 譲二氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意	東峰村農業委員会委員の任命について(高倉 栄氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意	東峰村固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について(重石 豊臣氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意	東峰村固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について(元永 彰一氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
同意	東峰村固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について(川村 卓三氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
同意	東峰村教育委員会委員の任命について(和田 亜矢子氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

6月定例会トピックス

ここに注目!

令和5年6月定例会は、6月13日から15日までの会期で開催しました。6月定例会では議案5件、報告2件、同意15件、発議1件が出されました。慎重審議の結果、承認可決されました。

空調設備で村民センターが涼しく

新しく村民センターに空調設備が設置されました。使用料は、村内外問わず、一律1時間あたり400円で、村民センター使用申込と同時に申請できます。設備の取り扱い、使用前にぜひ担当者にお尋ねください。その他に、照明器具が明るさの調節機能付きのLEDになりました。必要に応じて、明るさを調整して使えます。床もきれいに磨き上がり、気持ちよく活動が出来ます。

利用者の声

思った以上に涼しかったです。軽スポーツで利用した際は、快適でした。



新しい委員さんが

決まりました!

◆農業委員会委員(任期4年)  
熊谷弘枝(再任)  
小石原地区 西 徹

宝珠山地区

柳瀬圭三  
高倉寛視  
阿波範良  
梶原昭徳  
室井政春  
伊藤幸春  
熊谷和典  
熊谷譲二  
高倉 栄

◆固定資産評価審査委員会委員(任期3年)  
重石豊臣(再任)  
元永彰一(再任)  
川村卓三(再任)

◆教育委員会委員(任期4年)  
和田亜矢子(再任)  
(敬称略)

いずれも、村の発展に欠かせない大事な委員会です。どうぞよろしくお願いたします。

# ここが聞きたい!

## 一般質問

令和5年東峰村議会第3回(6月)定例会

質問順	議員名	質問事項(色付きは記載事項)	ページ
1	ひぐち あきら 樋口 朗	人口減少の原因分析と今後の対策について JR日田彦山線のBRT開通と旧宝珠山小学校グラウンド及び校舎の活用計画について 旧美星保育所の解体・撤去について 村広報紙の充実・発展について PFIによる公営住宅建設について 村の主要計画とPFIについて	P7
2	たかはし ひろのぶ 高橋 弘展	地域交通について 職員採用について 定住(移住)施策について 学校教育施策と社会教育施策と人材確保について	P7
3	ささき たかし 佐々木 孝	移住定住に向けた取り組みについて 営農推進特別委員会のモデル地区について 新規就農者支援事業について	P8
4	くろかわ たかやす 黒川 隆康	日田彦山線沿線整備計画について	P8
5	たかくら みきえ 高倉 美紀恵	美しい村連合について 新・放課後子ども総合プランについて	P9
6	わだ まさゆき 和田 将幸	BRTひこぼしライン開通に向けて 河川の災害ゴミについて	P9
7	おおくら ひさのり 大蔵 久徳	行財政改革について 景観整備について 医療体制について	P10

一般質問の詳細は  
議事録をチェック!!



樋口 朗 議員

PFIの検討で住宅建設が止まっているのでは  
——村長 従来の整備手法で住宅を建設する

**議員** 令和3年度に住宅設計に着手するはずの予算が繰り越された。4年度にPFI導入可能性調査に支出、今年度も導入支援業務委託料の予算だけで、住宅整備が2年も遅れている。それでもPFIを検討するのか。  
**村長** PFI導入準備に時間がかかっているので、従来方式で住宅建設を進める。

**議員** PFIは業者からの提案でもあると聞いた。村民に説明していないのに、一民間業者が知っているのは問題。利益誘導が疑われ、PFI業者の公募や選定が公平にできるのか。  
**村長** 業務の着手等に一特定業者を利用することはあってはならない。

※PFI…公共施設等の建設、維持管理、運営等を、民間の資金、経営能力・技術力を活用して行う手法。



公営住宅建設予定地(西福井地区小松)

**議員** いずみ館バスが廃止される。村内65歳以上の方が乗合タクシーでいずみ館に行く場合、往復で300円の負担増となるが、どう考えているか。  
**村長** 利用される方に対するの負担は、ご理解いただきたい。  
**議員** 当初は無償、段階を経て料金を徴収するなどしないと、新しい交通体系が根付くのにには時間がかかるのではないか。  
**村長** 無料で利用促進を図るのは、ぜひ実現したい。期間は2〜3ヶ月くらいになるかと思う。

### 空き家対策について

**議員** 高知県梶原(ゆすはら)町では、町が空き家を借り上げ、930万円を上限に水回りなどを改修。改修費は町が4分の1、残りは国・県が負担。定住希望



8月20日をもって廃止予定のいずみ館バス



高橋 弘展 議員

乗合タクシーは当面無料にすべきでは  
——村長 呼び水としての無料は検討する

者に、月1万5千円〜8千円で貸し出す仕組みがある。賃料から改修費負担分を回収し、10〜12年後には持ち主に家は返され、その後も定住者に貸与すれば家賃収入も得られる。村でもこのような空き家活用ができないか。  
**村長** 非常に興味があり、梶原町と意見交換を行って、村でも取り組めるか前向きに検討する。





佐々木 孝 議員

### 栗松地区の農地整備モデル事業とは ——村長 人と農地の予測地図作り

**議員** 栗松地区が農地整備モデル指定を受けている。目的や内容は。

**村長** 令和元年、国の法律改正を受け、地域の関係者が一体となった「人・農地プラン」の実質化と実践が求められた。「人と農地の予測地図作り」と題して、農業・農地をどう守るか等の協議を全地区で行った。農業者の年代分布状況や後継者の有無等を把握し、結果を地図化していく。全27集落で懇談会を行い、栗松と板屋地区が、農地整備を含めて、引き続き検討することになった。

**農林建設課長** 栗松地区では、東峰村農林業振興協議会の特別委員会で、農地整備の支援をしている。栗松地区の中でも尾崎・奈良尾地区では、従前から農



栗松地区の田んぼ

地整備の合意形成がされていたので、令和5年度予算で測量設計等が計上されている。この事業は、国の「田んぼダム」という農地整備の事業を用いる。新しい事業なので、受益者の皆様と話し合いながら進めていきたい。



黒川 隆康 議員

### 地域交通は8月に開始できるのか ——ふるさと推進課長 開始できるように進める

**議員** 地域交通が8月から開始との事だが、事業者やコールセンターとの調整も進んでなく、AI導入の件や西鉄との調整協議も出来てない。本当に8月開始ができるのか。

**ふるさと推進課長** 事業者やコールセンターの件については、最終的な確認が済んでいないが、8月運行開始に間に合うよう進めている。西鉄へは意向等を伝えていますが、反対の意見は出ていない。今後、協議を進めていく。AI導入の件は、運行の状況を確認しつつ、進めていければと考えている。

**BRT開業について**  
**議員** 8月28日のBRT開業に向けての取り組みと進捗状況は。  
**村長** 6月25日から1週間、添田町と共同で、BRT開通に向



BRT ひこぼしライン専用道ファンウォーク

けた番組発信をKBCに取り組んでもらう。また、JRにおいて開業前後に小倉駅や博多駅でイベントを実施予定。開通前には福岡、大分両県知事を招き、EV車両の試乗会や開業前日には開業セレモニーを実施。村としては何らかのイベントができないか協議中である。



高倉 美紀恵 議員

### 美しい村としての環境整備は ——村長 ポイ捨て禁止等看板は早く対応する

**議員** 「東峰村を美しい村として発信していくための環境整備をどう考えるか」と、令和4年3月定例会で質問した。「環境美化巡視員の配置、看板については前向きに検討する」と答弁があった。環境美化巡視員の活動内容はどうなっているか。

**住民福祉課長** 環境美化巡視員は、大字宝珠山1名と大字小石原に1名配置し、月2回、国道、村道、林道の巡視を行う。ごみを収集し、報告書の提出を受け、実績を確認している。

**村長** もう一度活動の内容、報告のやり方を担当課・巡視員と協議する。

**議員** 美しい村である東峰村には、看板・のぼりもない。啓発することで、ごみのポイ捨てもなくなると考えるが、村長の考えは。

**村長** 不法投棄禁止、ポイ捨て禁止等についてはできるだけ早く対応する。



立ち小便禁止の看板はありました

**議員** 巡視員は、1カ月に2回の巡視で1万6千円の活動費が充てられている。巡視員が月2回廻っても国道にはごみが散乱している。決して美しい村とは言えない。活動内容の指導はどうするのか。



和田 将幸 議員

### BRTの不安に対する住民への説明は ——村長 JRは全体説明会の開催を考えていない

**議員** 眼鏡橋の走行安全性や豪雨の影響等、住民がBRTに対して不安に思っていることへの説明を行わないのはなぜか。

**村長** JRにも再三申し入れしているが、説明会という形での開催をJRは考えていない。排水等の影響を受ける箇所は、関係者の声を受けて個別に説明している。

**議員** 村から住民に向けて、安全性やその仕組み等を広報できないか。

**村長** 皆さまに安心して利用いただくための説明を、広報紙等を通じて提供したい。

**議員** 通勤通学時の快速等の要望がなぜ採用されなかったのか。JRに強く要望し、協議したのか。



JR九州前田副社長(当時)が来た説明会

**村長** 夜明駅の接続と快速の要望は文書で出した。2年程前に口頭で協議したが、最終的な協議はなかった。夜明駅との接続があまり考慮されてなかったの、強く抗議を申し入れた。

**議員** 県と村とで沿線振興に対するスピード感にズレがある。もう少し早くできないのか。

**村長** 計画が予定通り進んでいない部分があった。スピード感・見直し・スケジュールの再確認をしながら着実に進めていく。



# 今、何調べてる??

## 常任委員会報告



大蔵 久徳 議員

行政改革をどのように進めていくのか  
——村長 職員の意識改革や業務改善を行う

**議員** 行財政改革大綱や計画を作って、行政改革を進める考えはあるのか。  
**村長** 総合計画の中で、効率的な行政組織づくり、財政運営の効率化、行政サービスの高度化等が取り上げられている。改革を進めるうえで一定の指針を示すべきと考えているが、現在のところ策定は考えていない。

**議員** 以前、事務事業評価が行われていたが、今後行政評価を行い、公表する考えはあるのか。  
**村長** 平成20年から3年間、事務事業評価が行われていたが、その後行っていない。平成27年から、まち・ひと・しごと総合戦略に基づく事業は、外部検証委員会等を設置して評価している。



令和3年 外部検証委員会

**議員** 外部検証委員会の結果が議会になかなか示されない現状で、行政評価を行っていると言えるのか。  
**村長** 災害等で中断したが、平成30年度以降の外部検証委員会は終わっている。その分の整理と公表がまだ終わっていないので、早急に行う。評価は、PDCAというサイクルの中で行わなければならないが、実施を検討する。

### 各課より主要事業の説明・報告

ふるさと推進課	BRT事業	・駅ごとに部会を立ち上げ、基本構想を練り上げる ・BRT開業にかかる事業のスケジュール案報告
	ほうしゆ楽舎	(株)宝珠山ふるさと村へ委託し、9月初めオープンで検討中
農林建設課	プレミアム商品券デジタル化	・これまでの紙形式から、カード・アプリでの商品券発行へ ・7月末～8月上旬頃に、募集チラシ・カード・マニュアル配布予定
	村道関係	・古城原線の道路拡幅工事 ・紙屋・延田線道路拡幅工事 ・塔ノ元橋・中尾床版橋・釜床橋の橋梁補修工事
	河川関係	・山の神川の改修工事 ・下郷地区・宝珠山原地区水路改良工事 ・寺村地区排水対策工事
	林道関係	・林道土師山線治山工事
	住宅関係	・定住促進住宅PFI導入支援業務として、民間ヒアリング・募集要項等 ・従来方式での住宅建設のため詳細設計の実施予定
	水源地域整備事業	・旧小石原小学校周辺整備事業 ・獣肉加工施設整備事業

## 水田農業の未来に向けて提案

経済常任委員会では、東峰村の農業の振興を研究する会(仮称)を設置いたしました。これから特に「村の水田農業のあり方」等について、本会で検討し、12月定例会で提案・提言をしたいと考えています。

### 経済常任委員会活動報告

委員長 佐々木 紀嘉

## コロナの先に

特別養護  
老人ホーム  
清和園 編



清和園  
坂口昭太郎施設長(右)  
湯野和樹事務局長(左)

坂口昭太郎施設長・湯野和樹事務局長に聞く  
新型コロナウイルス感染症の感染拡大から4年目に入り5類に移行し状況も変わってきました。高齢者の生活の場所である施設で、これまでどのように対応されたのかお聞きしました。

しました。8波に突入した令和5年1月に、初めてクラスターが発生しました。施設の一角を感染ゾーンとし感染マニユアルを日々更新しながら乗り切ることができました。  
**事務局長** 生活の場である施設内での利用者の行動を制限することになり、笑顔が減りました。これから先は、制限ばかりでなく感染後の対応をしっかりとすることで、利用者の生活の場をより楽しく暮らせる場にしていきたいと思います。

**施設長** 検温、手洗いの徹底、面会制限、利用者の外出制限、職員の行動制限などに取り組みました。職員の意識が高く、第7波まで感染者を出すことはありませんでした。しかし、高齢者施設のため、救急で受け入れてくれる病院がなく、施設での介護を求められて嘱託医、看護師が対応

職員の方々が、今までにない状況に置かれながらも、懸命に感染を防ぐ方法を模索し、今後を見据えて対応されていると感じました。

### 総務常任委員会活動報告

委員長 大蔵 久徳

## どこに出せばいい?! 一升瓶ゴミ

東峰学園PTAの皆さまが昨年度まで行っていた、空き缶・瓶回収が終了となりました。村民の皆さまからも多数不安の声をいただいておりますので、当委員会で「資源ごみ回収」に関する事務事業調査を行いました。

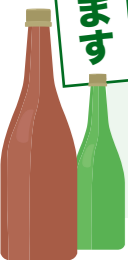
その他、様々な協議を行っております

- ・職員配置及び職員採用計画
- ・地域コミュニティの進捗
- ・4月からの集落支援員の体制
- ・いきいきサロンの新たな助成内容
- ・複式学級についての今後の対応
- ・部活動の地域移管への対応、等

下記の日時・場所にて村が酒用空き瓶(緑色・茶色)の回収を予定しております。  
令和5年8月25日(金) (旧宝珠山小グラウンド)  
令和6年3月22日(金) (小石原グラウンド)  
※詳細は6月全戸配布をご確認ください

また、通常の資源ごみ収集では、これまで通り酒用一升瓶(緑色・茶色)の回収は行いませんので、ご注意ください。常任委員会でも、今年度の回収状況を注視しながら、より効率的な資源ごみ回収のあり方を調査・提言してまいります。

今年度はこうなります







## 住民福祉向上のために

# 議会力アップへ

6月22日に、議員定数調査特別委員会アドバイザーに就任していただいた、大正大学江藤俊昭教授をお招きして全議員参加の勉強会を開催しました。

### 1 議員定数は 答えのないテーマ

議員定数は、以前は地方自治法により、人口規模で定数が決まっていました。その後、上限数も撤廃され、現在は自治体が自らの責任で決めることになりました。従来は、地域の「代表性」から人数を考慮して定数が決まっていました。人口減少が今後も進む中、

議会としてのポリシーを示した上で、住民自治の制度・運営の中で議論していかなければなりません。

### 2 議員報酬と定数は 別の論理

「議員定数を削減して、その分報酬を増額する。そうすれば、若い人が議員になれる」という声も聞こえてきます。議会費を一定とした想定からこのような提起がおきます。定数とは、議会として最も重要な「討議できる人数」。報酬は、活動量だけでなく、活動内容を踏まえた「原価方式」の考え方が広がっています。

### 3 行政改革とは全く異なる議会改革

行政改革は削減を優先させる効率性重視。一方で、議会改革は住民自治をどのよに創り出すかという、地域民主主義の実現です。地域民主主義の実現が、執行機関の行政改革を促進させることを、認識しておく必要があります。

まず議会力アップを図り、「住民の声を実現できる議会」を構築すること。そのうえで、東峰村にふさわしい「議員定数」を住民の皆さまとともに考え、検討してまいります。



大正大学 江藤俊昭教授

## 今後の協議の進め方

構想づくり  
(令和5年度中)

住民向け構想説明及び  
江藤アドバイザー講演会  
(令和6年2月予定)

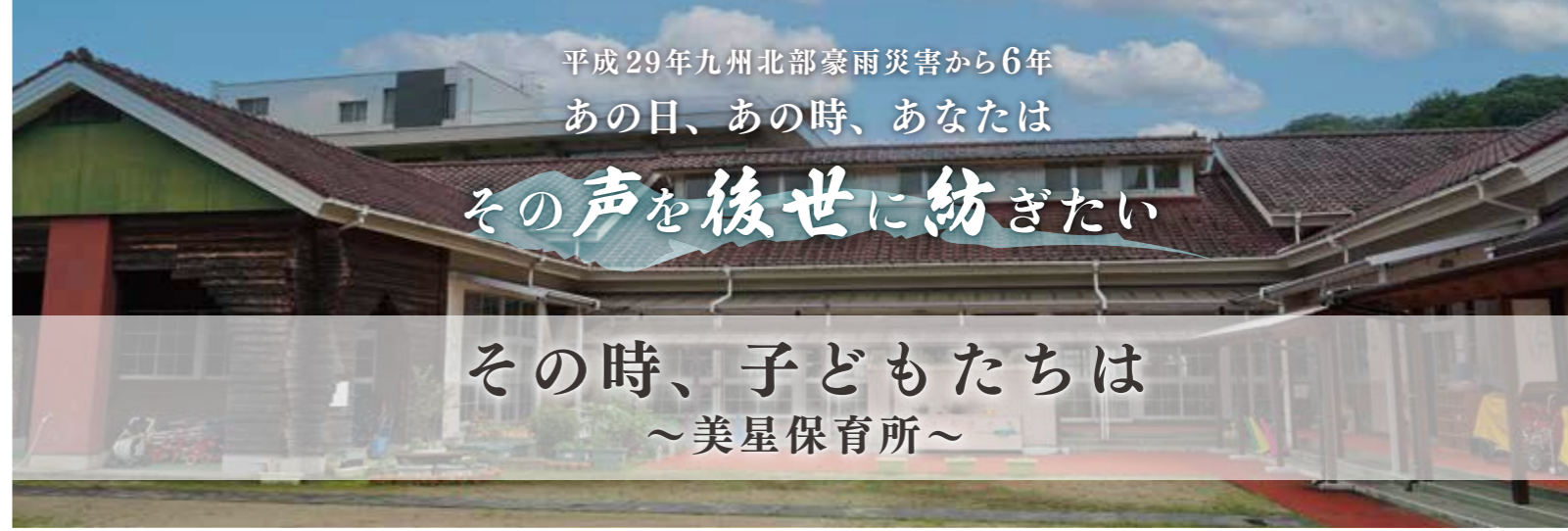
住民意見集約・素案作成  
(令和6年度中)

議会改革案議決  
(令和7年3月定例会)



# その声を後世に紡ぎたい

## その時、子どもたちは ～美星保育所～



小・中学生も利用したキッズルーム

避難者の中に、園児の泣き声で休めない人がいたので、村に相談し、集落センターに移動しました。

### 3. キッズルームを開設

7月7日(金)～9日(日)

(集落センター2階第3会議室)

被災後、東峰学園は夏休みになり、園児の外に小・中学生や保護者もあつまり、宿泊も受け入れました。

(3日間:園児16名、乳児2名、小学生20名、中学生7名、宿泊10名)

あの時、美星保育所で子ども達を守るために実践していたことを、所長の岩橋ルミ先生にお伺いし、以前に発表された資料をもとに当時から振り返りました。



美星保育所

### 1. いずみ館へ避難

7月5日(水)

昼すぎから雨足が強くなり、「裏山からの水がすごい」「川が増水して、橋が通れなくなり」と、保護者が迎えに来られ、8名の園児が帰りました。

お迎えは保護者の判断であり、この段階ではこんな災害になると思っておらず、お迎えに来てもらう方が危険であると判断、保護者に「お迎え」の連絡をしませんでした。

そのうち、園庭・駐車場・園舎の裏が浸水し始め、裏の水田から滝のように水が流れていたため、

### 4. キッズルームを

#### 臨時美星保育所として開設

7月10日(月)～15日(土)

保護者に電話で臨時保育所開設を伝え、園児の様子も伺いました。保育所職員も被災していたため、出勤可能な日で、出勤表を作成しました。

保護者に施設の利用条件を提示し、保育時間を理解していただきました。

#### ① 仕事にいく保護者

7時15分～18時15分(通常通り)

②家の片付けのため、預けたい保護者:9時～16時

★給食:いずみ館の調理室でご飯を炊き、おにぎりを提供。

★ミルクを必要とする乳児には、哺乳瓶消毒など、衛生管理が完全に出来ない事もあり、そのような状況をご理解いただける方を受け入れ。

(6日間:園児54名)

早めにおやつを食べ、お迎えを待つことにしました。たまたま来園していた消防設備業者が周辺を巡回、「川が増水されるかも知れない」と報告。初めて保育所周辺の大変さに気づきました。

孤立する前に、いずみ館への避難を決断しました。

14時10分

#### 東峰村土砂災害情報発表

15時15分

#### 東峰村避難勧告発令

園児の靴、通園バッグ、着替え、オムツ等を準備し、午後4時半から30分かけて、園児26名を職員の車や消防設備業者の車に分乗して避難しました。



増水した園舎の裏

保護者に「いずみ館に避難していただきますので、お迎えをお願いします」と連絡、7名が迎えに来られました。(宿泊:園児18名、職員9名、実習生1名、消防設備業者)

15時～18時

#### 記録的短時間大雨情報3回発表

17時51分

#### 福岡県大雨特別警戒情報発表

### 2. いずみ館での保育

7月6日(木)

道路が寸断されていたので、歩いてお迎えに来る保護者もいましたが、夕方までに全園児のお迎えが完了しました。

自宅や道路の被災などで、多くの住民が宿泊していました。残っていた職員が、おにぎり作り・トイレの水汲み・支援物資配布を手伝いました。トイレが詰まり大変でした。

(園児18名、職員8名、実習生1名)

### 6. 保育所再開

7月18日(火)

待ちに待った保育所の再開、園児の笑顔が戻りました。(5日間:園児119名)

### 7. 所長が感じた

#### 美星保育所の課題

①避難当日、おにぎりが支給されました。翌日はパンやお菓子、ジュースの差入れがありました。支援物資を使用する際、アレルギーを持つ園児への配慮が必要でした。

②職員の防災意識が低いです。(情報収集不足、避難する時必要な物、危険箇所の把握)

③固定電話が通じなくなり、職員の携帯電話から保護者に連絡をとっていると、充電がなくなり携帯も繋がらなくなりました。

また、携帯電話からの電話に保護者が出ない場合もありました。一斉送信メール等を検討しました。④保護者会等で災害時(台風・水



臨時の保育所 (集落センター)



臨時の保育所 (集落センター)

### 5. 保育所再開の準備

全職員で、通園路の補修、駐車場・園舎周辺の土砂運搬、園舎の清掃、消毒を実施し、再開に備えました。

保護者に「美星保育所での保育を再開します」と連絡。

やっと、元の場所です。落ち着いて保育が出来ると思い、嬉しさがこみあげてきました。



害・火災時などの保護者対応  
について説明が必要。

可能であれば、引き渡し訓練  
等を計画する。

⑤ 保育所再開後も断水のため、  
自衛隊給水車からの水運びが大  
変でした。

⑥ 調理員に被災した職員がいた  
ので、他市町村や県に調理員を  
要望したが、見つからず、東峰  
学園が夏休み中、調理員をお借  
りした。職員確保が困難でした。

こころを紡ぎたい

早い段階でいずみ館への  
避難を決断できたこと  
村の施設内を活用し、  
臨機応変にキッズルー  
ムや臨時保育所を設  
置できたこと  
支援物資を使用する  
際、アレルギーを持  
つ方への配慮が必要

平成29年7月災害直後の保育形態と利用者数（当時の園児数35名）

会場	いずみ館（和室）
5日（水）	出席園児33名、お迎え7名。いずみ館へ避難26名、内18名が宿泊
6日（木）	宿泊した園児18名を、職員8名、実習生1名が保育。園児の泣声クレームで集落センターに移動。園児・小・中学生を預かるため、キッズルームとする。

会場	キッズルーム（集落センター）				対応職員		
	園児	乳児	小学生	中学生	保育士	調理師	職員泊
7日（金）	6	1	7	4	6	1	4
8日（土）	7	1	8	3	6	1	4
9日（日）	3	0	5	0	6	0	2

会場	臨時保育所（集落センター）	
期日	園児	保育利用の理由
10日（月）	5	家の片付け等
11日（火）	7	仕事4・家の片付け3
12日（水）	13	仕事7・家の片付け6
13日（木）	11	仕事10・家の片付け1
14日（金）	11	仕事11
15日（土）	7	仕事1・家の片付け6

美星保育所再開	
期日	園児
18日（火）	25
19日（水）	25
20日（木）	34
21日（金）	29
22日（土）	6

編集後記

平成29年豪雨から6年が経過し、その当時を振り返る企画を掲載していた矢先に、再び大きな災害が村を襲いました。被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。再び被災したことで、復旧・復興への気持ちを高めていくことが難しいかと思えます。広報委員会としても、村民皆さまの「声」を掲載させていただき、皆さまに寄り添った復旧、復興を目指していきたいと思えます。

（高橋 弘展）

議長	伊藤 均	副議長	高橋 弘展
委員	高橋 弘展	委員	佐々木 孝
委員	高橋 弘展	委員	高倉美紀恵
委員	高橋 弘展	委員	樋口 朗
委員	高橋 弘展	委員	和田 将幸
発行責任者	伊藤 均		